

## 厚生・産業常任委員会 県外行政調査

1 調査日 令和2年11月5日（木）～6日（金）

### 2 調査の概要

11月5日（木）

#### （1）長野県議会（長野県長野市）

調査事項：新型コロナウイルス感染症に関するさまざまな取組について

長野県では、新型インフルエンザ等対策特別措置法で想定される枠組みだけで新型コロナウイルス感染症対策を講じるのは十分でないとして、外出自粛や休業検討などについて「協力の求め」ができる条例を都道府県では初めて7月に制定し運用している。

また、新型コロナウイルス感染症によって落ち込む経済の再生に向け、新型コロナウイルス感染症が終息しない中での観光として、感染拡大防止策を講じた上での県内周遊バスツアーを行うなどの取組を進めている。

本委員会では「新型コロナウイルス感染症対策について」を重点審議事項に位置付けており、今後の審議の参考とするため、長野県における新型コロナウイルス感染症に関するさまざまな取り組みについて調査を行った。



#### （2）信州大学工学部 信州科学技術総合振興センター（長野県長野市）

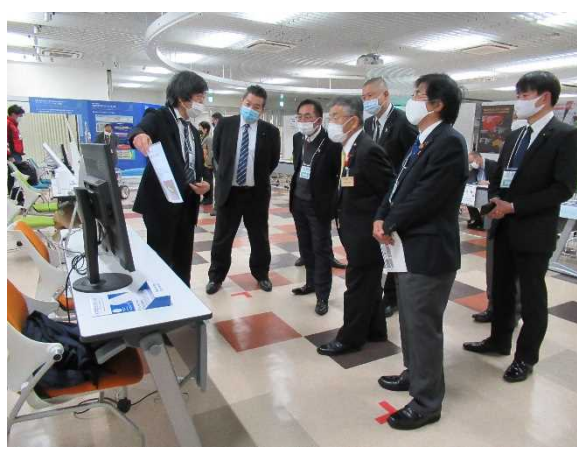
調査事項：産官学連携による産業振興について

信州大学は、大学の地域貢献度調査2019において総合1位となるなど、産官学連携の取組などを通して積極的に地域貢献の活動を推進している。

信州大学工学部にある信州科学技術総合振興センターは、地域と密着した産官学連携

のための共同研究施設として平成 22 年にオープンして以降、企業と大学が試作等の作業に活用する貸し工場や、異業種交流イベントができる施設を有し、研究者の技術サポートを行っているほか、会員数 270 社を超える信州大学ものづくり振興会が主催するものづくり振興フォーラムや見学会などでは、事務局として地域発展のための中心的な役割を担っている。

今後の審議の参考とするため、当日開催されている産学官一体となって IT 関連のビジネス創出につなげるためのイベント「Nagano Fledge」の視察も含めて、長野県における産官学連携による産業振興について調査を行った。



11月6日（金）

（3）Snow Peak LAND STATION HAKUBA（長野県北安曇郡白馬村）

調査事項：外国人観光客の誘客に向けた取り組みについて

Snow Peak LAND STATION HAKUBA は、新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言発令中であつた5月に県内在住者のみを対象にスモールオープン、7月にグランドオープンし、観光客が安心して物販や食事、キャンプなどが楽しめるように入館者への検温を行うなどの感染予防策を徹底して行っている。

また、当該施設は白馬村観光局インフォメーションを有し、白馬山麓エリア全体の観光情報やイベント情報を発信するなど、白馬村の観光拠点としての役割も担っている。

本委員会では「地域経済の活性化」を重点審議事項に位置付けており、今後の審議の参考とするため、コロナ禍における誘客に向けた取組について調査を行った。

